

平成21年8月1日

場所：島根県民会館 307号室
時間：14：00～16：30

(財)島根総合研究所
理事長
公認会計士 山根 治

『大義名分なき公共工事』

一城山北公園線（2工区）

1. 工事の概要

1. 1工区620m、2工区420m

2. 事業費 50億円（2工区）

3. 計画交通量 19,800台/日

4. B/C（事業採択の前提条件）

・C（総費用） 44億円

・B（総便益） 51億円

$B/C = 1.16 > 1$

2. 2つのシステムと公共工事

1. 統治システム（構造）

2. 利権癒着システム（構造）

・政－官－財（トライアングル）

・与野党グル

3. 公共工事

・事業の採択（必要性の判断）

・発注（談合）

・チェック（事前・事後）

4. ムダ（不要不急）な事業とB/C（費用対効果）

・一定の基準のもとで事業の優先順位を決定。

5. 城山北公園線の問題点

1. 重要な城下町遺跡の破壊

2. 必要性の欠如（ $B/C < 1$ ）

－事前チェックなし。

a) 過大な見込交通量

b) 過大な原単位設定

c) 非現実的な速度設定

整備無し $V = 1.5 \text{ km/h}$

整備あり $V = 3.5 \text{ km/h}$

6. 松江市市政（県、国）の問題点

1. 不要不急の道路、無用のハコモノ建設
2. 松江市歴史資料館の建設強行と家老屋敷遺跡の破壊
3. ティファニー美術館の破壊と無施策
4. 舟着きの松の枯死と無施策
5. その他

(資 料)

B/C (城山北公園線2工区) 公表数字の1.16についての疑問点

1. 計画交通量の水増し

計画交通量 (H42)	19,800台/日
現況交通量 (H21)	11,000台/日
差異	8,800台/日
	80%の水増し

*摘要 H19.10.18 島根県公共事業前評価班会議。

計画交通量 (H42)	20,000台/日
現況交通量 (H17)	12,700台/日

この時のB/Cは、1.36。 B=58億円 C=42億円

2. 時間価値原単位の水増し

乗用車類	45.78円/台・分
(改訂前)	55.82円/台・分)
時間給にして	2,746円/h
島根県実績	1,478円/h
	85%の水増し

3. B/C算定期間 40年→50年に延長

B (51億円) の値について、3.1億円の水増し

4. C (44億円) について、6億円の削減

5. 1.~4. により、B/Cは、1を大きく下回り、0.5以下となる(0.2以下になる可能性大)。3.4. だけでB/Cは1.16から0.94に。

6. その他

B/C計算外注先

2工区	－	大日本コンサルタント(株)	270万円
2工区	－	中電技術コンサルタント島根支社 (マニュアル改訂後)	130万円